



大分県 大分県椎茸農業協同組合

『乾しいたけを北米、EU等へ』

【主な品目】

乾しいたけ、乾しいたけ加工品

【主な輸出先国・地域】

アメリカ、イギリス、オーストラリア、香港 等

【輸出取組の概要】

- ◆ 展示会等での試食提供により、国産原木しいたけの味、香りなどの優位性をPR
- ◆ 国内外の商談会等に積極的に出展し、国内貿易会社との取引が徐々に開始
- ◆ 有機JAS認証を活かし、オーガニック志向の高いEU圏に輸出拡大

【輸出実績】（平成19年度より輸出開始）

	輸出額(万円)	輸出量(kg) [※]	出荷時期
令和6年度	2,088	2,620	通年
令和5年度	1,829	2,218	
令和4年度	1,995	2,522	

※ 輸出量は乾しいたけ加工品を含まない

【効果があった取組】

国際展示会で、商社と隣接してブースを設置し、興味を持ったバイヤーが即商談できる導線を整え、多数の成約につなげた。

【取り組む際に生じた課題】

- 1 中国産（菌床栽培）の乾しいたけと比較すると高価であり、価格競争力が弱点
- 2 輸出開始前にタイでテストプロモーションを実施し、一定の成果を得て輸出開始に至ったが、その後のタイ現地での自然災害の影響により取引継続が困難

【生じた課題への対応】

- 1 商談会や現地展示会で試食提供を必ず実施し、味や香りといった国産原木しいたけの優位点を強調。また、栽培方法の説明を通じて、食品安全性の高さを訴求
- 2 国内の輸出向け商談会及び欧米の大規模な国際展示会に出展。また、有機JAS認証を活かし、オーガニック製品のニーズがあるEU圏を開拓

【対応の結果】

- 1 中国産（菌床栽培）乾しいたけとの相違について消費者やバイヤーの理解が進み、購買拡大につながったことで、継続的な輸出を実現
- 2 国内貿易会社との取引が徐々に開始され、欧米を含む16の国・地域に輸出が拡大

【今後の課題・展望】

- 1 既存の輸出先国・地域における輸出量の一層の拡大を図るとともに、オーガニック食品への関心が高いEU諸国のさらなる需要獲得のための取組を強化
- 2 HACCP等の第三者認証に対応した施設の整備
- 3 生産者の高齢化に伴う担い手減少により生産量が減少

【活用した支援・施策】

【ウェブサイト】 <https://osk-shiitake.or.jp/>

【連絡先】 担当者名：直販営業部 難波、TEL：097-532-9141



国際展示会に出展



バイヤーとの商談会で商品説明



乾しいたけ（冬菇）